平成30年7月

道北支部ニュース

第123号

発行人　前田　健太郎
編集人　近藤　伸英

Index

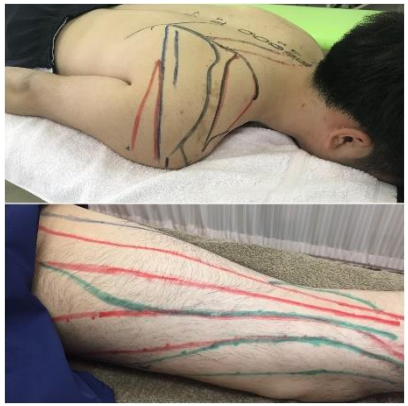
✓ Academic　PT
✓ 道北支部活動報告
✓ 道北支部掲示板
✓ 役員会議議事録

Academic　PT

北海道での体表解剖学の普及を目指して

北都保健福祉専門学校
理学療法学科　小橋泰文

今年の6月に一般社団法人 体表解剖学研究会の一員となりました。Academic PTのスペースを頂戴する機会を頂きましたので，体表解剖学研究会について，入会までに至った経緯，今後の目標などについて書きたいと思います。最後まで読んで頂けると嬉しく思います。



［体表解剖学研究会について］

体表解剖学とは筋・骨・神経等の運動器系の詳細な構造を3次元的に解明し，かつこれらを体表から正確に触察するという学問です。その触察方法の研究を行い，その成果を臨床家に広く普及させる活動を行っているのが体表解剖学研究会です。実際の人体解剖を介して，一般的な解剖書の記載のない，または記載とは異なる事実をまとめ，それらをもとに体表から触り，その正確性をエコーで確認しながら触察技術の向上を図っています。現在，全国で80名ほどの会員（講師）がおり，熊本・愛知・東京・四国支部を主にして運動器系体表解剖セミナーとして開催しています。100を超える全身の筋を実際に触り分け体表上に投影していく内容になっています。受講者は，PTのみならずOT・ST・柔道整復師・鍼灸師・アスレチックトレーナーと多様で，リピーターも多いです。

［入会までに至った経緯］

私は道北支部の学術の仕事をしていますが，支部の研修会に講師として研究会の理事である先生をお呼びしたのが本研究会との最初の接点でした。強く興味を引かれ東京でのセミナーを受講することを決め，単身参加しました。いざ受講してみると，詳細な筋・腱の構造や個体差，筋連結などの解剖学的な知識や，筋の起始部から停止部までを正確に触り分け，触り分けることは困難だと思っていた筋を自分の指で感じられるといった技術を次々と目の当たりにし，今までいかに思い込みで触っていたのかと痛感しました。それ以上に，自分の知らなかった知見や技術は私の好奇心を刺激し，もっと学びたい，北海道にもこの技術を広めたいという気持ちを強く感じていました。このときの懇親会で北海道から参加していた2人の柔整・鍼灸の先生方も同じ気持ちを感じており，意気投合し，3人で北海道支部を立ち上げようと決意しました。まずは入会することが必要で，そのためには講師認定試験（口頭試問＋実技試験）に合格しなければなりません。これに向けて，本格的な勉強をスタートさせました。2年間（計12回）東京セミナーに通い，札幌でも定期的に勉強会を行い，テキストを熟読し，実技練習を反復して行いました。協力していただいた方たちには本当に感謝しています。おかげさまで無事合格することができ，次のステップへと進むことができました。

［今後の目標］

ひとまず1年間は研修生という立場で東京セミナーのスタッフとして活動しながら技術の研鑽に励みます。並行して北海道の先生方に体表解剖を少しずつ知って頂けるよう活動していきたいと思っています。今の私にできることは限られていますが，すでに何度か講義と実技をさせて頂いています。1年で講師に昇格し，初の北海道支部として運動器系体表解剖セミナーを開催することが当面の目標です。この活動を通じて北海道のPTの技術の向上に寄与したいと僭越ながら思っています。PTにとって高い触察技術の必要性は明白です。そして触察技術の向上は，皆さんが日々行っている評価や各種の治療技術，臨床推論能力のベースの向上に確実につながります。何よりも患者さんの反応が変わってくることを実感できると思います。

最後に，一緒に勉強する仲間を募集しています。少しでも興味を持って頂いた方，一度学んでみませんか？また，自分も講師を目指してみたい！と思う方がいましたら，ぜひお力をお貸しください。意欲さえあれば経験年数は関係ありません。

最後まで読んで下さりありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

道北支部活動報告

旭川市健康まつりに参加して

森山メモリアル病院
理学療法士　阿部　紗枝

私はこの度、6月2日に旭川大雪アリーナで開催された「旭川市健康まつり」に参加させて頂きました。健康まつりでは市民に健康をテーマにした様々なブースが設置されており、私達は「体力測定・健康相談・介護予防・理学療法啓発」を主目的とした活動を行いました。内容は、血圧測定・握力測定・棒反応・TUG・身長・体重・柔軟・片脚立位保持およびその結果のフィードバックです。

事前には、事業に参加するスタッフと顔合わせをし、当日の流れであったり評価基準を設定したりと、様々な打ち合わせを行いました。私は初めての参加のため健康まつりとはどういうものなのか、評価設定はどこまでなのか、トラブルの場合はどのような対処をするべきなのかを把握するだけで精一杯でした。しかし、周りの先輩達がたくさんアドバイスをしてくださり、和気あいあいとした雰囲気であったため、当日の不安より自分も楽しんで参加しようという気持ちがあふれてきました。

当日は、血圧と握力測定を担当しました。私のブースは受け付けも兼ねていましたので、ファーストコンタクトが大事だと思い、笑顔で丁寧に接する事を心掛けました。実際にその効果があったのかは定かではありませんが、老若男女多くの方が測定にいらっしゃいました。後から聞いた話では、私たちのブースに123名の方が測定に来てくださったそうです。また、血圧測定では手動での血圧計を使いましたが、「いつも電子機器の血圧計で、結果にばらつきがあるため不安。目盛りが実際に見える方が良い」との声がよく聞かれました。日頃から健康に気を遣う方が多く、尚且つ正確性を問われるため、しっかり測定しなければならないと思いました。終えたときには、スタッフの皆さんと最後までやりきった達成感と多くの市民の方と関われた充実感でいっぱいになりました。

実際に参加して感じたことは、自身の健康に気を遣う事が多く、特に高齢の方が関心を持って測定に来てくださっていました。また、高血圧を気にする方が多く、数値に問題が無いと安心して帰ってくださる方も多かったです。自身の健康状態に関心はあっても、実際に測定して確認する場所や自身で管理する機会も少ないのではないかと思います。そのためこのような健康事業をもっと増やし、多くの人に周知してもらう必要もあるのではないかと考えました。また、高齢の方だけではなく若い女性の方(特に小さなお子さんのいる主婦の方)もたくさん来てくださいましたので、今は高齢の方の健康に目を向けがちですが、若年層の健康もサポートしていかなければならないと思いました。

今回の健康まつりを通して、理学療法士として市民の方々と関われたことはとても良い経験になりましたし、現在働いている病院でも今回の経験が生かされている事が感じられます。また、旭川市内の理学療法士の先輩と交流する事ができ、日頃の業務の中では出来ない貴重な経験をさせていただきました。私は、地域に関われる仕事に興味があり、今回を通して地域と密接に関われる理学療法士の可能性に魅力を感じました。またこのような機会があれば、是非参加したいと思います。

理学療法の日PRイベントに参加して

旭川赤十字病院
理学療法士　及川　奈々美

平成30年７月15日、理学療法の日PRイベントが開催されました。今年は、忠和公園にて活動しているアスリートクラブ999のサポートとして、ウォーミングアップやストレッチングなどといった、セルフコンディショニングについて指導をさせていただきました。

当日はあいにくの天候で屋内での実施となり、参加者が少なくなってしまうことが予想されましたが、10名程度の選手の方々とその家族の方が参加してくださり、一人一人とゆっくり丁寧に関わることが出来ました。

今回サポートをさせて頂いた方々は、発達障害などを抱えながら、スポーツに取り組んでいる選手の方々で、ほとんどの方が一週間後に陸上大会を控えていました。今回出会った皆さんは日頃から一生懸命スポーツに取り組んでおり、痛みを抱えていても体のケアが不十分なまま練習を積み、オーバーワークとなってしまっている方や、日々の仕事の中で同じ作業を繰り返しており、慢性的な疼痛を持ちながらスポーツに取り組んでいる方など様々な症状の方がいらっしゃいました。私は初めてこのイベントに参加し、競技者との関わりを通して、障害予防難しさを感じました。今回セルフコンディショニングを指導させて頂きましたが、本人に日常で継続してほしいことや意識することを覚えて帰ってもらうことが難しく、その場で一緒に行うことが出来ても定着させるのは難しい印象を受けました。そのため、クラブのコーチや親御さんにも内容を伝え、自宅などでも一緒に体のケアを行って頂けるよう指導させていただきました。家族や周囲の大人のサポートの必要性も感じ、理学療法士として周囲の方への指導も重要になると思いました。

私個人としては、経験が浅く知識面も不十分であり、参加するまでは不安も大きかったですが、体のケア以外にも日常のことなど気さくに話してくださる選手の方が多く、笑顔が多い明るい雰囲気での開催となり、元気を頂く機会にもなりました。これから日々の業務や勉強会・研修会などを通して、知識を増やしスキルアップを目指し、またこのような地域の方と関われるようなイベントに参加して、地域の方々をサポートしていきたいと思います。

また、高齢の方だけではなく若い女性の方(特に小さなお子さんのいる主婦の方)もたくさん来てくださいましたので、今は高齢の方の健康に目を向けがちですが、若年層の健康もサポートしていかなければならないと思いました。

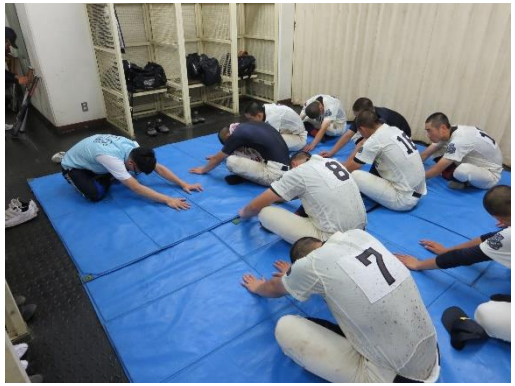
高校野球サポートに参加して

旭川赤十字病院
理学療法士　角井 孝多

この度、高校野球サポートメンバーとして北北海道大会旭川支部予選に参加させていただきました。支部予選は統括責任者とメンバー2人の合計3人体制で参加し、活動内容としては投手へのアイシング・ストレッチ、試合終了後の全体ストレッチ、その他希望者への個別対応となっています。サポートに入るともれなく、本部席という特等席から高校野球を観戦できるという非常に嬉しい特典があります。しかしサポートメンバーとして、選手が怪我をしないかなど、広い視野で状況をみなければならず、ただの観戦とは違う意味でハラハラ・ドキドキしながらの観戦となります。

夏の大会は3年生最後の大会ということもあり選手は無理をしがちで、自分が参加した日も個別対応のテーピング依頼が合計3件発生しました。いずれも統括責任者が迅速に対応し、普段スポーツ外傷やテーピングといった機会がない私は評価やテーピングの仕方を勉強させていただきました。こうしてサポートに参加することで他施設の方との交流や勉強できる場にもなると感じています。

今後もサポートを通じて多くの方々と交流をして成長していきたいと思います。初心者でも興味のある方は是非とも参加して、ともに成長していきましょう！最後にこのような機会を提供してくださる関係各所の方々に深く感謝申し上げます。



道北支部掲示板

～学術部より重要なお知らせ～

支部事業に関しては完全事前申し込み制を導入いたしております。これは当日の突発的なキャンセル防止、運営スタッフの負担軽減を主目的に行っております。ついては、事業の申込締切日時点までのものを有効としています。従いまして、事業に関しては事前申し込みがない方が、直接、会場に来場した場合は受講不可となります。また、事前申し込みをしたが期日までに事前入金をしていない場合も同様の扱いとなります。

また、今年度より領収書の発行にも事前の申込みが必要となっております。事業当日は事前に申し込みがなければ領収書は発行できませんのでご注意ください。

協会主催の研修会等には必ずご持参下さい！！

第1回道北理学療法学術研修大会のお知らせ

第1回
道北理学療法学術研修大会
- 臨床推論に必要な評価とその展開方法 -

2018/9/9　10:00～
富良野文化会館
大会長：前田健太郎（かわむら整形外科）

【特別講演】

臨床推論に必要な評価とその展開方法
亀尾 徹 氏

【教育講演～各分野における臨床推論の実際～】

運動器疾患
建内 宏重 氏
（京都大学　講師）

脳血管疾患
増田 知子 氏
（千里リハビリテーション病院　チーフ）

内部疾患
森野 陽 氏
（北海道千歳リハビリテーション大学　講師）

スポーツ疾患
小林 匠 氏
（北海道千歳リハビリテーション大学　准教授）

【市民公開講座】『腰曲がりの予防とリハビリテーション』
講師　千葉　恒氏　（老人保健施設ふらの）
座長　川村　大介氏（かわむら整形外科・院長）

【お問い合わせ】　準備委員　松田　直樹（旭川リハビリテーション病院）
0166-65-0101　nm.07p18@gmail.com

北都保健福祉専門学校　同窓会のお知らせ

平成 30 年 7 月 31 日

リハビリテーション関連職種
各　　位

北都保健福祉専門学校　理学療法学科同窓会
会　長　　齊藤　浩平

講演・症例検討会のご案内

拝啓

向暑の候、ますますご健勝のことお喜び申し上げます。平素は当同窓会の活動におきまして一方ならぬご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北都保健福祉専門学校理学療法学科同窓会では、平成 30 年度、会員を中心とした講演・症例検討会を下記の通り開催する運びとなりました。時節柄ご多忙とは存じますが、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

日　時　：平成 30 年 9 月 29 日　14：00～16：00（受付 13:30～）
会　場　：一条クリニック　（〒078-8341　旭川市東光 1 条 1 丁目 1-16）
内　容　：14：10～**講演「呼吸器疾患～コメディカルに必要な基礎知識～」**
市立旭川病院　呼吸器内科　福居　嘉信先生
15：20～休憩
15：30～**症例検討会「在宅患者における肺炎のリスク」**
訪問看護ステーションみのり　天野　智文先生（3 回生）
参加費　：500 円（会員外）
申し込み：氏名・勤務先、職種、経験年数を明記の上、件名「北都同窓会申し込み」
下記の e-mail アドレスに申し込み下さい。

申し込み期限：平成 30 年 9 月 15 日まで

担当者：北都保健福祉専門学校理学療法学科　同窓会役員　冨永　恵理
連絡先：北都保健福祉専門学校　理学療法学科　電話：0166-66-2500
住所：旭川市緑ヶ丘東 1 条 2 丁目 1 番 28 号
e-mail：hokuto_dousoukai_pt（@）yahoo.co.jp

役員会議議事録

平成30年度　第2回　北海道理学療法士会道北支部役員会議
日付：平成30年6月26日
時間：19:00～20:30
場所：旭川市民活動交流センターCoCoDe
出席者(13名)：前田・千葉・齊藤・内藤・岩滝・太田・片野・尾形・小林・橋本・阿部・近藤・松岡

議題：理事・支部長報告
内容：
(1)理事活動報告
5月19日　定時理事会
・創立50周年記念式典での表彰推薦者について、木村和久氏(旭川赤十字病院)が北海道知事感謝状に選定された。
6月9日　第1回臨時理事会、理事・委員長・部長合同会議
・学術奨励賞に内藤孝洋氏(旭川リハビリテーション病院)、社会分野奨励賞に小林浩氏(森山メモリアル病院)、福田賞に千葉恒氏(介護老人保健施設ふらの)がそれぞれ選考された。
(2)支部長活動報告
5月31日　住まいるイン旭川総会・懇親会
6月8日　上川中部地域リハビリテーション推進会議総会
6月10日　北海道ブロック協議会
結果：承認

議題：事務部報告
内容：
(1)事務部活動報告・予定
・旭川市のコンベンションカレンダーに、第3回道北理学療法学術大会が載ることとなった。
・道北支部のFacebookページを開設する。
・7月末に支部ニュース発行予定。
結果：承認

議題：学術教育部報告
内容：
(1)支部研修会開催報告・予定
6月2日　第1回　沖田実氏(テーマ：拘縮の科学～メカニズムと治療戦略～)
7月18日　第1回症例検討会：小児部門
8月12日　第2回　山田実氏(テーマ：地域在住高齢者に対する評価と運動処方～予防介入の実践に向けて)
結果：承認

議題：職能部報告
内容：
(1)職能部活動報告
・平成30年度あさひかわリハビリ体操指導士3級養成講座について
2センターで開催中、1センターで開催予定。齊藤副支部長が挨拶する。主催がはっきり決まっていないため、修了証や認定証の発行が滞っている。
結果：承認

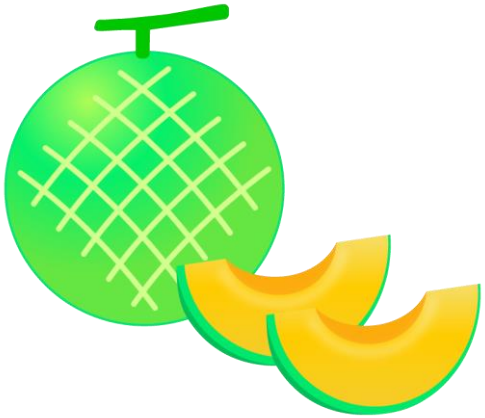
議題：会計部報告
内容：会計状況報告
結果：承認

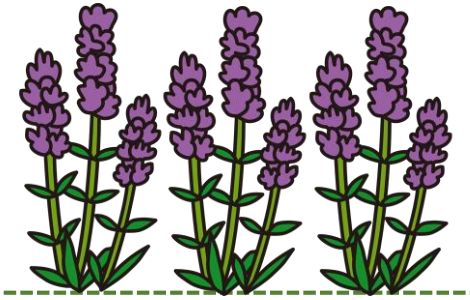
議題：社会部報告
内容：
(1)社会部活動報告
3月10～11日　第38回VASALOPPET JAPAN
5月11～14日、5月18～20日　第57回春季北海道高等学校野球大会旭川支部予選
5月19～20日　第57回春季北海道高等学校野球大会名寄支部予選
6月2日　旭川健康まつり
6月21日　ダイハツとの共同事業「健康安全運転講座」
(2)社会部活動予定
6月26日～7月3日　第100回全国高等学校野球選手権大会北北海道大会旭川支部予選
6月30日　第100回全国高等学校野球選手権大会北北海道大会名寄支部予選
7月14～22日　第100回全国高等学校野球選手権大会北北海道大会
7月15日　理学療法週間事業
(3)Sweet girl runのサポートについて
・第1回道北理学療法学術研修大会と日程が重なっており、スタッフ確保の困難が予想され、今年度は中止。
結果：承認

議題：地区幹事報告
内容：
上川中部地区
1.上川中部地域リハビリテーション推進会議：総会6/8　作業部会6/20(月1回程度)
2.旭川市医療・介護連携推進検討会（未定）→準備会7/12
3.上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会：7/6
4.地域キャラバンin稚内への協力
上川北部地区
1.上川北部地区PTOTST合同勉強会：5/25(隔月開催予定)
「姿勢ケアとポジショニング」　臨生会吉田病院OT吉田篤
宗谷地区
1.地域キャラバンin稚内開催：10/13
2.広域支援センターの総会、意見交換会4/14
広域支援センター多職種研修：10/20
3.高野連サポート：6/30、7/1、9/15・16
留萌地区
1.平成30年度第1回留萌保健医療福祉圏域連携推進会議　在宅医療・ケア専門部会：7/19
2.症例報告会：10/20開催
富良野地区
1.HARPによる介護予防活動の継続(ふれあいサロンへの講演活動やドーミンリハ体操指導)
2.地域住民対象に介護予防サポーター養成講座の実施に向けた取り組み
結果：承認

議題：その他
内容：
・第3回道北理学療法学術大会にて、協賛企業は入れない。また、第71回北海道理学療法士学術大会が今のところ旭川開催予定で、前年度の道北理学療法学術大会は行わない方向となった。
・次回の支部役員会議は9月18日（旭川市市民活動交流センターCoCoDe）
結果：承認

文責者：道北支部　事務部　書記　松岡　雅也





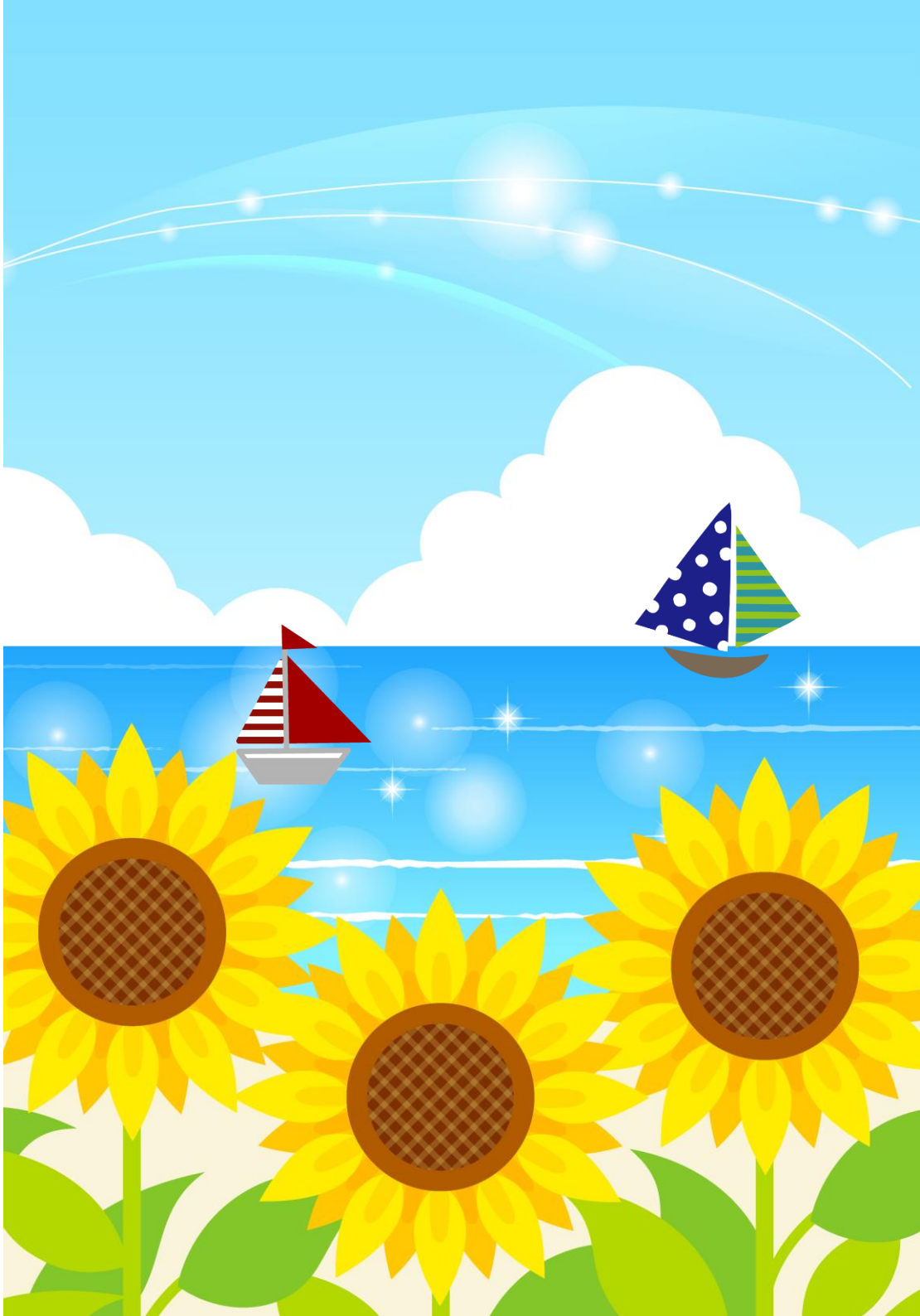
＜次号予定＞

- ✓ **Academic　PT**
- ✓ **支部事業活動報告**
- ✓ **道北支部掲示板**
- ✓ **役員会議議事録**

～編集後記～

6月中は蝦夷梅雨といいましょうか，なかなかすっきりしない天気が続きました．7月後半になってようやく夏らしくなってきました．ただでさえ短い北海道の夏は，今年はより短くなりそうです．

夏といえばかき氷（自分で勝手にそう思っています）．最近は色々なお店でいわゆるフワフワ系のかき氷が食べられるようになってきました．旭川市内では「hifumi」や「ぶんご」が有名ですね．東川町にも「liko organic café」というお店も人気ですね．

皆様のおすすめのかき氷屋さんがありましたら，是非，教えていただきたいです．

問い合わせ先　北都保健福祉専門学校　近藤伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp